

# ふくい社会福祉

2024  
**5**  
No.466

Fukui Social Welfare



県内の介護現場で活躍しているタイ人技能実習生たちが、本会と独立行政法人国際協力機構北陸センターが開催したキャリアアップセミナーに参加し、自身の将来ビジョンについて考えました。  
(8Pに関連記事)



## CONTENTS

### 2.3P 特集 令和6年度事業計画・当初予算の概要

4P 報告 ◆ 「マイナスだけでは終わらせない」  
輪島市社協職員へのインタビュー  
報告 ◆ 県社協3部門8課(所・センター)体制に

5.6P 賛助会員一覧

7P 案内 ◆ 「福祉就職フェア」のご案内  
案内 ◆ 福井県介護支援専門員  
実務研修受講試験のご案内

8P 社協TOPICS ◆ 外国人介護人材キャリアアップセミナー  
募集 ◆ タイ人技能実習生受入施設募集

9P 案内 ◆ 介護技術向上研修・  
介護職員等訪問指導研修のご案内  
広告 ◆ ボランティア保険

10P 報告 ◆ 寄付・寄贈  
案内 ◆ ラジオ講座いきいきライフのご案内



# ・当初予算の概要

## 計画全体テーマ

### 「福祉・介護人材の確保、定着」

抱える一方、住民間のつながりが希薄化しており、複合的な課題をの課題が顕在化しています。

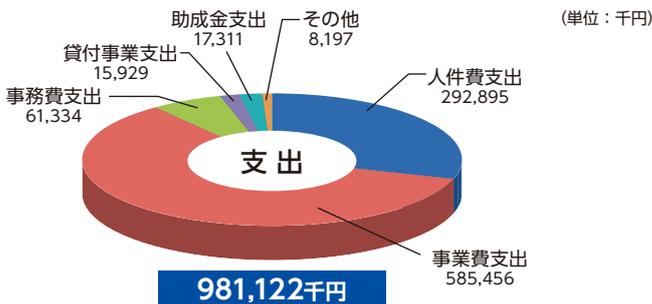
多くの方が困難な生活を送られており、これらの地域福祉の課題に、

不足はあらゆる産業分野で深刻で、依然厳しい状況が続いており、

「介護人材の確保、定着」を令和6年度重要テーマに掲げ、事業を

## 当初予算の概要

※事業活動による収支状況  
(各会計間における繰入・繰出による収支を除く)



くため、グラフ化したものです。このため、各会計間における繰入・繰出など、よる収支差が、△206,261千円となっていること理由は次のとおりです。  
事業(公益事業)や生活福祉資金関連会計については、前期繰越金を財源とするため、支差額は、+1,416千円となります。

で福祉まつり等の行事に合わせて地域密着型で実施。福祉分野のさまざまな仕事を楽しみながら体験し、学べる場を提供します。

●「ちょこっと就労」の普及・推進 222千円

●外国人介護人材育成支援事業 74,710千円

ミャンマー人介護技能実習生の受入れと現地講習「福井クラス」を運営します。

●社会福祉士実習生の受入、指導体制の維持更新

●福祉人材センター、嶺南福祉人材バンク、保育人材センターの運営 35,419千円

●福祉従事者対象の各種研修実施 45,403千円

●介護福祉士・保育士修学資金貸付事業 165,846千円

### 県内社協職員の主な災害派遣実績

年度	災害	延べ日数	延べ人数
平成7年1月	阪神・淡路大震災	63日	22人
平成9年1月	ロシアタンカー重油流出事故	28日	160人
平成16年7月	福井豪雨	19日	473人
平成19年3月	能登半島地震	30日	167人
平成23年3月	東日本大震災	197日	118人
平成25年9月	台風18号大雨被害(小浜市、若狭町)	22日	108人
平成28年4月	熊本地震	82日	52人
令和4年8月	豪雨災害(南越前町、勝山市)	35日	450人
令和6年1月	令和6年能登半島地震	119日	70人

※令和6年能登半島地震は5月15日時点の実績

### 【県内社協災害時活動支援システムの導入】

県内での災害発生時の被災地における福祉活動に万全を期すため、本会と県内市町社協は相互支援協定を結んでいます。その機能の強化を目的として、災害時活動支援システムを導入します。

全国的に導入実績があるクラウドサービスを活用し、被災状況の把握や被災者のニーズ管理をはじめ、協定に基づく応援職員の派遣調整等を効果的・効率的に行います。

導入後は、相互応援協定に基づく訓練で活用するほか、平常時から情報共有と連絡調整で積極的に運用し、社協ネットワークの強化を図る方針です。

## 【基本目標3】 制度の狭間を生まない 包括的支援体制づくり



### 【主な事業】

- 生活福祉資金特例貸付 債権管理、借受人の相談支援、フォローアップ支援 206,325千円
- コミュニティソーシャルワーク(CSW) 実践研究会の実施(再掲) 356千円
- 生活困窮者に対する相談支援事業の実施(法人連携協) 100千円
- 日常生活自立支援事業の実施、成年後見制度理解促進 94,563千円
- 市町社協との連携・協働 1,821千円
- 各種別協議会の運営支援 2,031千円

## 【基本目標4】 新たな課題に取り組む 組織・ネットワークづくり



### 【主な事業】

- 第5期プランの総括および第6期プランの策定 200千円  
局内横断により中期計画の総括および次期計画を策定します。
- 社会福祉大会(社会福祉功労者表彰)、地域共生フォーラム 1,954千円
- 広報誌等、ホームページ、SNS等による情報発信 1,470千円
- 福祉イメージアップに向けた取組み 118千円
- 福井県社会福祉センター管理運営、サービス向上の取組み 66,228千円

中期活動計画「第5次ふくい地域福祉プラン」で掲げた4つの「基本目標」に基づき、最終年度として各種の事業に取り組んでまいります。

## 【基本目標1】社会的孤立を生まない地域づくり



### 【主な事業】

- 新●社会福祉法人トップセミナーの開催** 749千円  
社会福祉法人の役職員を対象に「狭間」ではなく「のりしろ」のある地域のセーフティーネットに向けた関係構築と連携強化のきっかけをつくります。
- 新●企業の社会貢献活動応援事業** 411千円  
社会貢献に対する企業の意欲は高いものの、従来のような動員型のボランティア活動には参加者が集まりにくくなってきています。個々の企業の事情を踏まえ、業種や得意な分野等の特性を生かした、社会貢献活動に向け支援します。
- 災害福祉支援ネットワークの構築 4,609千円
- 「共に生きる力」を育む「福祉共育」推進事業の実施 2,051千円
- コミュニティソーシャルワーク（CSW）実践研究会の実施 356千円
- 子ども未来支援事業の実施 3,010千円



## 「災害に強い地域づくり」のための新たな取り組み

### 【災害福祉支援センターの新設】

本会の各部署がそれぞれの担当事業と連動する形で蓄積した災害対応にかかる情報やスキル・ノウハウを一元化し、有事に機動的・総合的な支援を展開するため、災害福祉支援センターを新設しました。常設の災害福祉支援センターは、全国でもまだ先例の少ない仕組みです。

本会は被災者を支援するため、県内市町社協とともに

# 令和6年度事業計画

## 令和6年度事業

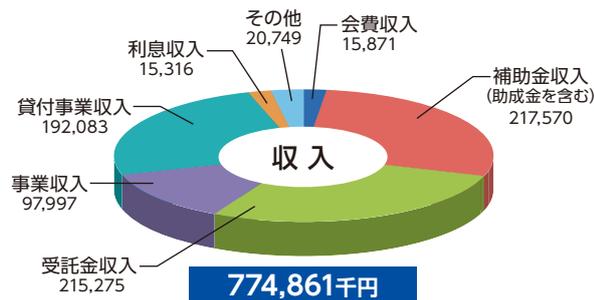
### 「災害に強い地域づくり」

コロナ禍や物価高騰の影響により多くの方が生活上の困難さを抱えて社会的に孤立している方への支援に結びついていないなどさらに、今年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、地域全体で包括的に支援する体制が求められています。

一方、福祉人材の確保についても、少子高齢化が進む中、人材喫緊の課題となっています。

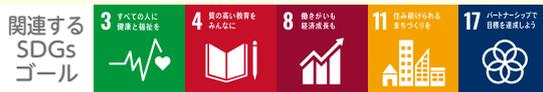
このような状況の中、本会は、「災害に強い地域づくり」「福祉展開していきます。

## 令和6年度収支



令和6年度当初予算における福井県社協の事業活動の収支概要をご理解いただくその他の活動による収支に関する予算は反映させていません。また、事業活動に※過年度に原資が一括交付されている「福祉人材育成・ひとり親家庭等自立資金貸与」当期の資金収支差額ではマイナスとなります。社会福祉事業のみの事業活動資金収

## 【基本目標2】地域と福祉を支える担い手づくり



### 【主な事業】

- 新●ふくしキッズプロフェッショナル** 480千円  
子どもたちに体験を通じて福祉の仕事に対する理解を深めてもらうため、「ふくしキッズプロフェッショナル」と銘打った事業を展開します。  
メインとなるイベントを12月初旬(予定)に福井市内のショッピングセンターで開催するほか、県内4会場

被災地社協へ応援職員を派遣しているほか、福井県災害派遣福祉チーム(福井DWA T)の事務局も担っています。また、社協間だけでなく、行政や社会福祉施設種別協議会、ライオンズクラブ、青年会議所等とも災害時の連携・協力協定を結んでいます。災害対策に関連する通常業務に加え、これらの多様なネットワークも生かして、平時から縦横の連携を意識した取り組みを進めることにより、発災初動期から復旧・復興期の生活再建まで、きめ細やかで切れ目のない支援活動を展開していきます。

# 「マイナスだけでは終わらせない」 いっぽを紡ぐつながら直しへの挑戦



田中 昭二さん  
市協職員



本会HPまたは  
こちらから  
ご視聴ください



能登半島地震の被災地では、発災から半年近くが経つ今も、復旧復興に向けた闘いが続いています。特に現地の市町社協職員は、大半が自らも被災者でありながら住民の心と暮らしを支える活動に取り組んでいます。

去る4月20日、東海北陸ブロック内の社協から応援職員を派遣している輪島市社協の職員のインタビューを行い、動画を制作しました。彼らが発災以降どのような思いを持って支援に取り組んできたのかや、住民と向き合う中で気づかされたことなどを語っていただいています。

ふるさと輪島の復興を願いながら奮闘する職員の皆さんの声に、ぜひ耳を澄ましてみてください。



## 3部門8課(所・センター)体制に

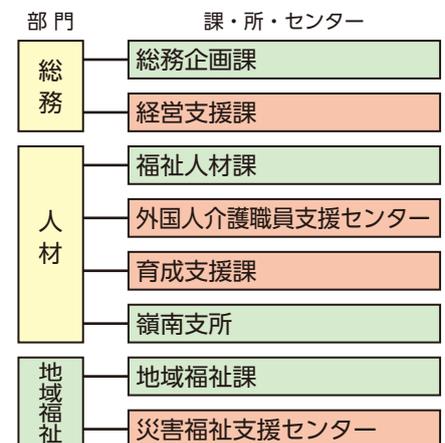
令和6年度の重点テーマに掲げた「災害に強い地域づくり」と「福祉・介護人材の確保、定着」を実現するため、本会では専門部署を新設するなどして体制を強化しました。

新型コロナウイルス禍からの社会経済活動の回復が進んでいますが、格差の拡大や頻発する災害等により、さまざまな福祉課題が顕在化しています。

一方で労働力の偏在は著しく、国内の令和5年の労働力人口は、元年に比べて3大都市圏で増加しているのに対して、地方では軒並み減少。本県は石川県や富山県の2倍以上の1万6千人減となり、福祉業界の人材難に拍車がかかる事態となっています。

こうした現状を踏まえ、喫緊の課題である福祉人材の確保や、災害の発生等に機動的に対応できるよう、2部門（総務・人材/地域福祉）から3部門（総務/人材/地域福祉）に再編するとともに、経営支援課、外国人介護職員支援センター、育成支援課、災害福祉支援センターを新設し、4課体制から8課（所・センター）体制に移行しました。

### 福井県社会福祉協議会 事務局組織図



■ 分離独立 ■ 新設

# 賛助会員名簿

※社名・団体名の五十音順

(令和6年5月10日現在)

お寄せいただきました会費は、一人ひとりの尊厳が守られる共生社会の実現を  
目指し、地域福祉を総合的に推進するための活動に活用させていただきます。

## 福井市

- 株式会社アイビックス  
アシスト福井株式会社  
株式会社アスピカ民救サービス  
社会福祉法人足羽福祉会  
株式会社アラモト  
アルマ千寿  
株式会社石川コンピュータ・センター  
井上商事株式会社  
株式会社ウララコミュニケーションズ  
栄月株式会社  
S M B C 日興証券株式会社 福井支店  
エフケーユーテックニカル株式会社  
大原スポーツ医療保育福祉専門学校  
有限会社奥義肢製作所  
奥武建設工業株式会社  
オフィス上村  
株式会社カククラ  
株式会社かつみ  
学校法人金井学園  
株式会社カワグチ  
河和田屋印刷株式会社  
清川メッキ工業株式会社  
銀扇福井株式会社  
久我 晶
- 株式会社ケア・フレンドズ  
医療法人健康会 嶋田病院  
有限会社康守商会  
医療法人厚生会  
医療法人幸若会 打波外科胃腸科婦人科  
社会福祉法人寿の会  
小林電工株式会社  
コマツサービスエース株式会社  
酒井電機株式会社  
サカセ化学工業株式会社  
株式会社三協土建  
株式会社JTB 福井支店  
株式会社システム研究所  
株式会社ジャストコーポレーション  
株式会社昭和堂  
城本 敬  
株式会社新内  
スバル食品株式会社  
瀬戸 百合子  
創文堂印刷株式会社  
株式会社ソーワ  
大栄株式会社  
大和証券株式会社  
大和電建株式会社  
株式会社高島松文堂  
株式会社竹下印刷所
- 株式会社タツセイ  
株式会社田中化学研究所  
中部インテリア株式会社  
有限会社辻事務機商会  
株式会社辻広組  
デュプロ北陸販売株式会社  
医療法人富永病院  
トヨタL&F福井株式会社  
株式会社ナイガイ  
株式会社にしぼた  
株式会社日刊県民福井  
公益財団法人日本電信電話ユーザ協会福井地区協会  
日本ミール株式会社  
株式会社野村塗装店  
株式会社ハシノメディカル  
株式会社ハヤカワ  
光タクシー有会社  
平田鉄工株式会社  
廣部 すみえ  
福井A R C  
福井医療生活協同組合  
福井エフエム放送株式会社  
株式会社福井観光トラベルサービス  
株式会社福井銀行  
福井県環境保全協業組合  
一般社団法人福井県建築組合連合会
- 公益財団法人福井県国際交流協会  
株式会社福井建材社  
福井県済生会病院  
福井県生活協同組合連合会  
公益社団法人福井県ビルメンテナンス協会  
公益財団法人 福井市ふれあい公社  
学校法人福井仁愛学園  
株式会社福井新聞社  
福井信用金庫  
福井総合病院  
福井テレビジョン放送株式会社  
福井日産自動車株式会社  
福井放送株式会社  
株式会社福井ライン  
福泉信用組合  
藤田製本印刷株式会社  
株式会社ホクシン  
ホテルリバージュアケポノ  
株式会社増田喜  
公益財団法人松原病院  
ミカミ看板  
水野公文堂  
三谷設備株式会社  
三谷不動産株式会社  
三津井証券株式会社  
株式会社ミツノリ

ムラセ看工店  
株式会社名譽社

マイプルケア有有限会社

株式会社ヤクルト北陸福井本社

山崎総合事務所

株式会社山崎塗装店

株式会社ユアーズホテルフクイ

陸整自動車株式会社

隆機工業株式会社

和田こども園

## 敦賀市

株式会社かくだ 敦賀ケアセンターかくだ

医療法人積善会 猪原病院

株式会社ミヤゲン

## 小浜市

社会福祉法人つみぎハウス  
ツダ印刷所

## 大野市

櫛田造園

特定非営利活動法人福祉ワーキンググループ大野

株式会社松浦印刷所

## 勝山市

株式会社鷺田商会

## 鯖江市

株式会社ウオノン

医療法人日野会 谷川病院

福井トータルケア株式会社

株式会社フジタ・印刷

## あわら市

坂井地区医師会

## 越前市

株式会社オーデオテクニカフクイ

医療法人笠原病院

株式会社国府印刷社

医療法人白百合会 武生記念病院

大和建設株式会社

医療法人林病院

NPO法人ぴーぷるファンファンズ3

福井鉄道株式会社

株式会社ふじや食品

松原産業株式会社

## 坂井市

医療法人社団茜会

株式会社サカイ・ミート

社会福祉法人坂井来春会

サンキ株式会社

株式会社三和商会

医療法人慈風会 宮崎病院

第一織物株式会社

東尋坊ひまわりの丘

福井システムズ株式会社

前田工織株式会社

株式会社ワタナベ印刷

## 南越前町

医療法人加藤医院

## 越前町

丹生ケアセンターひまわり荘

ライフガード越前朝日

## 若狭町

有限会社今井技研 アイちゃん堂

株式会社前田産業

介護老人保健施設ゆなみ

## 県外

株式会社かんぼう(大阪府)

サーマエンジニアリング株式会社(愛知県)

白石薬品株式会社(大阪府)

中央法規出版株式会社(岐阜県)

東洋羽毛北信越販売株式会社(石川県)

## 賛助会員を募集しています

福井県社会福祉協議会は、会費や寄付金、公費補助金、受託金等で運営されています。こうした財源は、民間団体として活気のある運営と活動の推進を図るためには欠かすことのできないものです。そのため、福井県社会福祉協議会では、県民の方々や企業、各種団体等に賛助会員となっていただき、活動財源の一部として活用させていただいております。

本会の活動の趣旨をご理解いただき、賛助会員としてご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

入会等についてのお問い合わせは、本会までお願いします。

### 賛助会費

年額 一口 5,000円

お申込み・お問い合わせ先

福井県社会福祉協議会 総務企画課

〒910-8516 福井市光陽2丁目3番22号 福井県社会福祉センター1階  
TEL:0776-24-2339 FAX:0776-24-8941 E-mail:somu@f-shakyo.or.jp



# 令和6年度 「福祉就職フェア」のご案内



福井県福祉人材センター、嶺南福祉人材バンク無料職業紹介所では、福祉施設等の魅力や採用の情報等を直接施設等の求人担当者とやり取りができる「福祉就職フェア」を開催します。

福祉の仕事に就きたいと考えている方、福祉の仕事に興味はあるけど…。まずは福祉の仕事の内容などを知りたい方、福祉の仕事に興味のある方ならどなたでも、参加自由（無料）です。

皆様のご来場をお待ちしております。



## 【日程・会場】

<嶺南会場> 「ふくい福祉就職フェア」	
日程	令和6年6月22日(土) 13:00～15:40 ①13:00～「福祉のお仕事セミナー」 ②13:35～「オンライン職場見学会」 ③14:10～「職場説明・面談会」
会場	敦賀市福祉総合センター 「あいあいプラザ」(敦賀市東洋町4-1) 1階あいあいホール他
問合せ先	嶺南福祉人材バンク 無料職業紹介所 TEL.0770-52-7833 

<嶺北会場> 「ふくい福祉・保育就職フェア」	
日程	令和6年7月7日(日) 12:30～15:30 ①12:30～「オンライン職場見学会」 ②13:30～「職場説明・面談会」
会場	福井県生活学習館(福井市下六条町14-1) 1階多目的ホール他
問合せ先	福井県福祉人材センター TEL.0776-28-3180 

【参加予定事業所】 福井県内で社会福祉施設（事業所）を運営している法人等  
嶺南会場 18事業所（予定）・嶺北会場 80事業所（予定）

【その他】 開催時は感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。

## 第27回(令和6年度) 福井県介護支援専門員 実務研修受講試験

### ●申込受付期間

7月1日(月)～7月11日(木)  
※土、日曜日を除く9:00～17:00

### ●試験実施日および会場

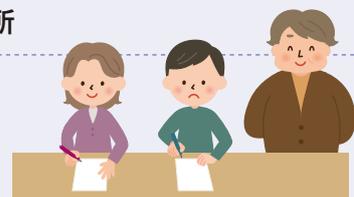
10月13日(日) 10:00～12:00  
(予定) 福井県社会福祉センター、  
福井県織協ビル、福井県産業会館

試験会場については、受験票の発送をもって通知しますので、指定された会場で受験してください。  
(受験者が選択することはできません。)

### ●試験案内および受験申込書の配布

6月3日(月)～7月11日(木)

各市町介護保険担当課、坂井地区広域連合  
各市町社会福祉協議会、県長寿福祉課  
県社会福祉協議会(県社会福祉センター)  
県社協嶺南支所



【問合せ先・事務局】 育成支援課 TEL.(直通)0776-21-2294・(代表)0776-24-2339

# 外国人介護人材のキャリアアップ

「タイ人技能実習生と受入れ事業所を対象として  
実習生の将来のキャリアを考えるセミナーを開催しました！」



タイ人技能実習生によるワークショップの様子

今回のセミナーは、タイ人技能実習生と受入れ事業所を対象として、ワークショップ形式で行い、実習3年間の半分以上が経過した第1・第2期生14名が参加しました。初めて日本に来た時と今の気持ちの

変化、今後の仕事や目標などについて考え、グループワークを通して参加者と共にありました。参加

者からは「実習期間が残りわずかであることを意識し、将来のキャリアパスを考え始めるようになった」、「将来、介護分野で働きたいと計画を立て始め、会社の人と相談してみようと思う」などの声があり、自身の将来ビジョンを具体的に考え、行動していく契機となりました。

続けて開催した2回目は受入れ事業所を対象として、オンライン形式で行いました。実習生の指導者や施設長など11事業者から参加いただき、外国人職員のキャリア形成に向けた取組み、定着支援に向けた課題や工夫などについて、各事業所での取組み事例を発表しながら意見交換を行いました。

県内の介護現場で不足する人材を確保していくことは喫緊の課題であり、外国人材の需要はますます高まってきています。福井県を選び、現在介護に従事している外国人材が将来にわたり地域の介護を支える存在として元気に活躍いただくことを期待しています。

本会では、タイ人技能実習生の受入れ事業所を募集しています。関心がある方はお気軽にご連絡ください。



## タイ人技能実習生 受入施設募集



～2025年春 入国予定者(第7期生)～

「明るい性格で、年配者に対する尊敬や思いやりに溢れる」  
タイ人介護技能実習生の受入施設を募集しています。具体的な  
説明や相談等を希望される場合は、下記までご連絡ください。



- 監理団体** 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 (ふくい外国人介護職員支援センター)
- 募集施設** 県内の介護施設・事業所 5施設・事業所程度
- 技能実習生** タイ人介護技能実習生 10人程度 (18歳～20代前半)
- 申込期限** 2024年6月末 ※申込多数の場合は期限前に募集を終了します
- 受入要件** (1) 原則として2人以上での受け入れ  
(2) 基本的な受入期間は3年間  
(3) 日本人と同等以上の月給のほか、監理費が必要  
(4) 住居(寮)の確保等 ※詳細についてはお問い合わせください

これまでに受け入れた  
タイ人介護技能実習生  
に関する動画をこちら  
からご覧になれます→



### 県社協の取り組みの特色 (メリット)

- 介護現場に精通した職員が体制づくりからアドバイスを行い、外国人介護職員受け入れの不安を解消
- 施設配属前には、県介護福祉士会と連携して介護講習を実施し、施設の実習にスムーズに移行
- タイ語の専任通訳職員が実習生とのコミュニケーションをフォロー
- 実習開始後も日本語上達に向け、独自の日本語研修を毎月開催

**問合せ先** 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 ふくい外国人介護職員支援センター  
☎ 0776-24-0086 FAX 0776-24-0063 E-mail : kaigo@f-shakyo.or.jp

介護従事者向け(オンライン)

## 介護技術向上研修

介護職員を対象に、テーマやキャリアに応じた介護技術、福祉用具を活用した援助技術を修得し、介護負担軽減と介護の質の向上、人材の定着を図ることを目的とします。

さらに介護技術の実地・対面研修を希望される場合は、別途「介護職員等訪問指導研修」をお申込みください。

### 研修メニュー

#### 概論

- 初心者として身に付けておきたい介護の基本
- 疾患理解と身体観察のポイント
- 認知症の理解と尊厳あるケア

#### 基礎技術

- 利用者の能力を引き出す移動・移乗
- 褥瘡・拘縮予防とポジショニング
- 自立を意識した着替え・入浴介助
- 排泄関連用具の選定と介助方法
- 摂食嚥下障害者のケアと食事介助
- 口腔ケアと介護予防



介護従事者向け(実地)

## 介護職員等訪問指導研修

職員に対する研修機会を設けることが難しい小規模等の介護保険事業所に出向いて研修を行うことにより、介護従事者の基本的な介護技術等の修得を支援することを目的とします。

### 研修メニュー

#### 基礎技術1 (介護技術向上研修の基礎技術にほぼ対応)

- 利用者の能力を引き出す移動・移乗
- 褥瘡・拘縮予防とポジショニング
- 自立を意識した着替え・入浴介助
- 排泄ケアと関連用具の選定
- 摂食嚥下障害者のケアと食事介助
- 口腔ケアと介護予防



#### 基礎技術2 (訪問指導研修オリジナルメニュー)

- 自立支援をめざした福祉用具の選定と活用
  - ※シート・ボード等を使用した介護のメリット・デメリットを知りたいという事業所におすすめです。
- 個室での入浴介助方法
  - ※個室のある小規模多機能型、グループホームにおすすめです。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和6年度

# ボランティア活動保険

商品パンフレットは  
こちらから  
(ふくしの保険ホームページ)



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

### 保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症		補償開始日から補償 <sup>(*)</sup>		
地震・噴火・津波による死傷		×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

### <重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



### ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

### 送迎サービス補償

(傷害保険)

### 福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

### 団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 保険会社 TEL: 03(3349)5137  
 受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

### 取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03(3581)4667  
 受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

# 寄付 寄贈

♥3月27日

**寄付者** 岡本龍博 様

●寄付金 2万円

**寄付先** 福井県社会福祉協議会  
(能登半島地震被災地支援活動)

♥3月29日

**寄付者** ボランティア活動者

●寄付金 7,550円 (はぴコイン)

**寄付先** 福井県社会福祉協議会  
(子ども未来応援バンク)

♥4月3日

**寄付者** 仲川 喜代美 様

●寄付金 50万円

**寄付先** 福井県社会福祉協議会  
(能登半島地震被災地支援活動)

♥4月3日

**寄贈者** 情報労連 福井県協議会 様

●いちほまれ (10kg) 10袋

**寄贈先** 子ども食堂10か所



心温まる寄付・寄贈に  
心から感謝申し上げます。  
皆様の善意は有効に  
活用させていただきます。



## ラジオ講座

# いきいきライフ

## ご案内

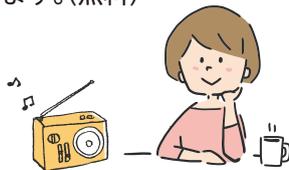


ラジオ講座「いきいきライフ」は、ラジオやインターネット等を通じて、時事、社会、文化、娯楽、健康、医療、福祉など各界で活躍されている方のお話を毎週聞くことができます。シニア期の暮らしに必要なテーマをシリーズで放送する「学び強化月間」も定期的に設けています。

FBCラジオ (嶺北864kHz/FM94.6MHz・嶺南FM93.6MHz) で、毎週日曜日の6:30~7:00に放送しています。(毎週土曜日17:15~17:45再放送)

放送後、インターネット公開します。(無料)

FBCi FBCラジオ



5月の放送は、学び強化月間として

**「健康的な生活を送るために免疫力を高めよう」**という共通のテーマでお送り

します。私たちの体に備わっている免疫の仕組みやその機能を引き出す方法について詳しく学びます。

二次元コード先のホームページからテキストをご覧ください。➡

テキストを読んで、  
放送を聞いてみませんか?



**【問合せ先】** 福井県社会福祉協議会 福井県すこやか長寿センター TEL.0776-24-2433